

別記様式1（その1）

発掘調査（法第99条）の事務処理総括表

年 月～ 年 月

（市町村名 ）

番号	遺跡の名称・所在地	調査を行った 地方公共団体	調査の目的 種類	面積	調査期間	備考
1					年 月 日 年 月 日	
2					年 月 日 年 月 日	
3					年 月 日 年 月 日	
4					年 月 日 年 月 日	
5					年 月 日 年 月 日	
6					年 月 日 年 月 日	
7					年 月 日 年 月 日	

(その2)

《記入要領》

- 1 本調査票には、発掘調査が完了したものについて記すこと。
- 2 「遺跡の名称、時代・種類、所在地」の欄には、「時代・種類」として、その遺跡の主な時代・種類のみを記すこと。また、「所在地」として、市町村名及び大字名（複数の場合は代表でよい）まで記すこととし、小字・地番は不要であること。ただし、住居表示の場合は町名（何丁目）まで記すこと。
- 3 「調査の目的、種別」の欄には、「目的」として「開発対応」「遺跡整備」「自然崩壊」「学術研究」等、開発対応の場合については、「種別」として、「本発掘調査」「確認調査」「試掘調査」等を記すこと。
- 4 「面積」の欄には、実際に発掘調査を行った面積を記すこととし、複数面の場合でも面積を合計しないこと。
- 5 「備考」には①市町村遺跡番号
 - ②発掘調査担当者名（複数の場合は代表者のみ）
 - ③調査の目的を以下の中から選び記すこと。 a 道路 b 鉄道 c 河川 d ダム e 学校 f 集合住宅 g 個人住宅 h 工場 i 店舗 j 個人住宅兼工場又は店舗等 k その他建物 l 宅地造成 m 土地区画整備 n 公園造成 o ゴルフ場 p 電気・水道・ガス等 q 農業基盤整備 r 農業関係事業 s 土砂採取 t その他開発 u 学術研究 v 遺跡整備 w 保存目的の確認調査 x 自然崩壊 y 遺跡地区作成等
 - ④法第93条または第94条の規定により実施した発掘調査については、県から市町村に通知した文書番号を記すこと。

《記入例》

発掘調査（法第99条）の事務処理総括表

年 月～ 年 月

(市町村名)

番号	遺跡の名称 時代・種類 所在地	調査を行った 地方公共団体	調査の目的 種類	面積	調査期間	備考
1	〇〇遺跡 弥生・集落跡 (〇〇町大字〇〇所在)	〇〇町	開発対応 本発掘調査	m ²	年 月 日 } 年 月 日	@@町123番遺跡 担当者名：@@@ 調査目的：農業基盤整備 法第94条：平成@年@月@日文第@@号
					年 月 日 } 年 月 日	
					年 月 日 } 年 月 日	